

病害虫発生予察情報

東京都病害虫防除所

向こう1ヶ月（7月）の予報

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1
Tel. 042-525-8236 Fax. 042-529-0943

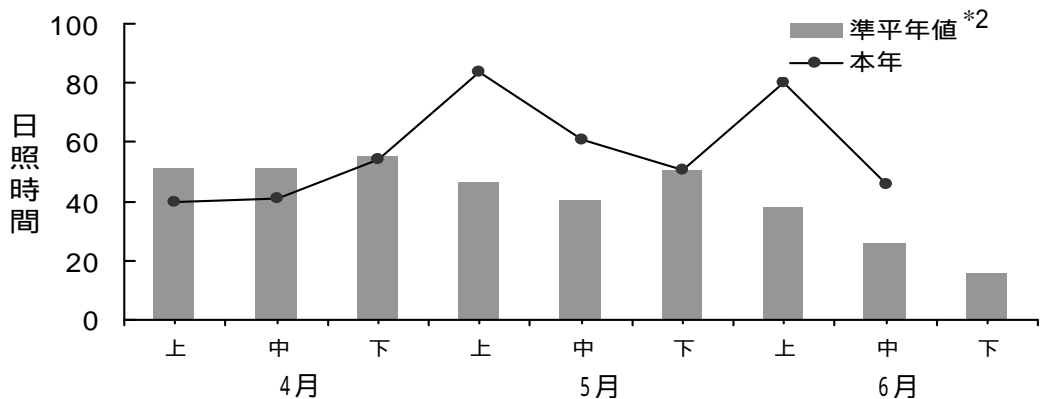
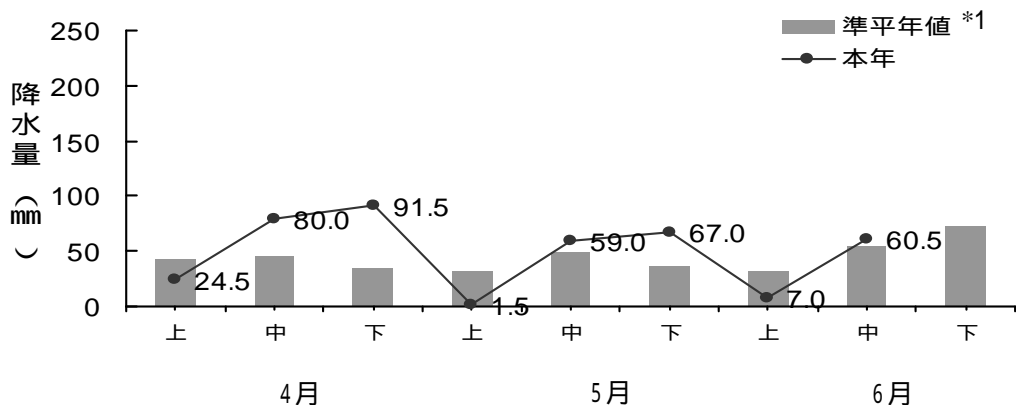
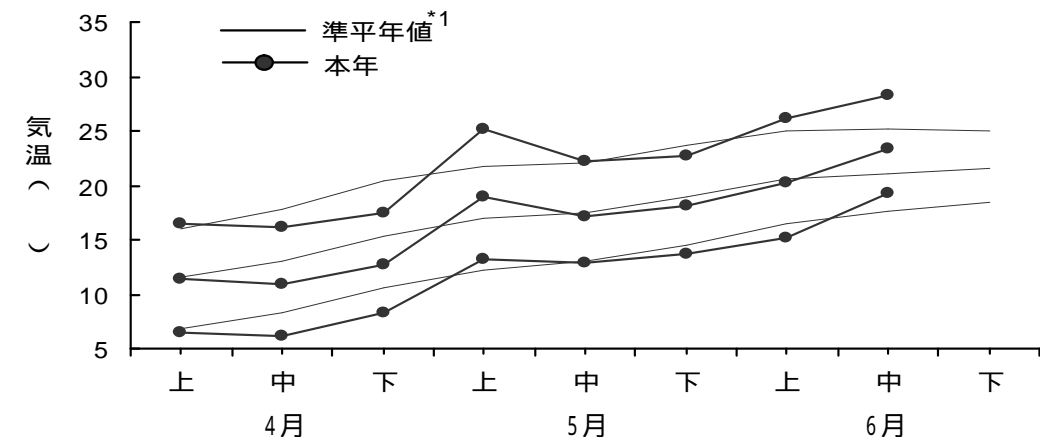
平成22年度 予報第3号

http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo
e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】平成22年6月25日 気象庁 地球環境・海洋部発表，関東甲信地方の1か月予報より

確率	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気温	10	30	60
	降水量	40	40	20
	日照時間	30	40	30

【気温・降水量・日照時間の経過】 準平年値と本年の6月中旬までのデータを示した。
(東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



*1：1979-2000の平均値，*2：1987-2000の平均値

近年、無登録農薬が全国的に流通し、使用されている実態が明らかとなり、国民の「食」に対する信頼を損なう大きな問題となりました。

このため、2002年12月に農薬取締法が改正され、2003年3月10日からこの改正法が施行されました。主な改正点は、

無登録農薬の製造、輸入、使用の禁止（販売は従来から禁止）
農薬使用指針に違反する農薬使用の禁止
罰則の強化など

であり、農薬を製造・輸入・販売・使用するすべての国民に関する内容です。

農薬は農林水産省の登録番号のあるものを、ラベルをよく読んで使いましょう。詳しい農薬情報は、農林水産省ホームページ（<http://www.maff.go.jp/nouyaku/>）の「農薬コナ」をご覧ください。

改正農薬取締法の施行により、農薬登録の適用作物名「はなやさい」は、カリフラワーの別称で、ブロッコリーを含まないと定義されました。「ブロッコリー」および「カリフラワー」では使用できる農薬が異なりますので注意をお願いします。

【病害虫発生予報】（各根拠に記した()内記号は発生助長要因の強度を示す）

イネの病害虫

1. いもち病（葉いもち）

予報内容

発生時期 並
 発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少なく、日照時間は平年並みと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を認めたら防除指針に従い防除する。
- 2) 補植用苗は放置すると本病の伝染源となるので、早めに処分する。

2. ニカメイガ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

3. セジロウンカ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 予察灯への成虫の飛来は少ない。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

4. イネミズゾウムシ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 昨夏の発生は平年並であった。(±)
- 2) 巡回調査では、各地とも発生量はやや少ない。(-)
- 3) 予察灯調査では誘殺数は少ない。(-)
- 4) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

5. 斑点米カメムシ (アカホソヒゲカスミカメ)

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 圃場周辺のスィーピング調査では発生が少なかった。(-)
- 2) 予察灯への誘殺は平年並である。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 畦畔や水田周辺の樹木園の雑草の草刈りを行う。

. 果樹の病害虫

1. ナシの黒斑病

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

2. ナシの黒星病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

3. ナシのアブラムシ類

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、被害新梢率 30%で例年よりやや多い。(+)
- 2) 今後増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。
- 2) ワタアブラムシは有機リン系薬剤に対して抵抗性を生じている場合が多いのでローテーション散布を行う。

4. ナシのハダニ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では発生は少ない。(-)
- 2) 今後増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。
- 2) 薬剤防除は抵抗性を生じやすいのでローテーション散布を行う。

5. 果樹共通 カメムシ類 (チャバネアオカメムシ・クサギカメムシ)

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) フェロモントラップへの飛来数は 6 月に入ってから平年並～やや多く推移している。(+)
- 2) 本年のスギ・ヒノキ球果量は少ないと予想されるため、スギ・ヒノキから早期に離脱し、果樹園に飛来する可能性が高い。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 今後も園内を見て回り早期に飛来状況を把握する。
- 2) 果樹園付近のスギ・ヒノキ・サクラ・クワなどの実に飛来してくる成虫の観察を行って、今後の発生量に注意する。
- 3) 袋がけなどで果実への加害を予防する。
- 4) 飛来数が多い場合は防除指針に従い防除する。

. 茶樹の病害虫

1. ハマキムシ類 (チャノコカクモンハマキ)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) フェロモントラップによる調査では、誘殺数は平年並である。(±)
- 3) 今後増加期に当たる。(+)
- 4) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

. 野菜の病害虫

1. キュウリべと病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少なく、日照時間は平年並みと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

2) 梅雨期に降雨が続くと急激に蔓延するので、初期防除を的確に行う。

2. キュウリうどんこ病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、施設栽培での発生は平年並であるが、露地栽培での発生は少ない。(±)
- 2) 栽培後期に多発する傾向がある。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 梅雨明け後に急激に蔓延するので防除が手遅れにならないよう注意する。
- 2) 下葉に発生する初期病斑に留意し、防除指針に従い防除する。

3. トマト葉かび病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、施設、露地栽培とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 栽培後期に多発する傾向がある。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

4. コマツナ炭そ病(露地栽培)

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 梅雨の終期に降雨が連続し、気温が上昇すると発生が多くなる。
- 2) 防除指針に従い防除する。

5. トマトのアザミウマ類(果実の白ぶくれ症)(露地)

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生はやや多い。(+)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針を参照する。

6. ネギアザミウマ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや多い。(+)
- 2) 今後、増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を認めたら防除指針に従い防除する。
- 2) アブラナ科野菜や果樹，花卉類など幅広く加害する。

7. コナガ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では，10 株当り幼虫・蛹数は 5 個体で例年より少ない。(-)
- 2) フェロモントラップによる誘殺数はやや少ない。(-)
- 3) 6 月中旬以降，各地で個体数の急激な増加傾向が見られる。(+)
- 4) 気象予報によれば気温は高く，降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 被覆資材などを利用した防除法を活用する。
- 2) アブラナ科の各野菜ごとに防除指針に従って防除する。
- 3) 薬剤抵抗性の出現に注意して，系統の異なる薬剤をローテーション散布する。
- 4) 収穫残渣は速やかに埋設するなどの処理を行う。

8. 果菜類・スイートコーン（露地栽培）のアブラムシ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では，発生は少ない。(-)
- 2) 今後増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く，降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を見たら防除指針に従い薬剤を散布する。

10. スイートコーン（露地栽培）のアワノメイガ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では，各地とも発生はみられていない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く，降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生時期（7 月下旬～）が近づいたら防除指針に従い薬剤を散布する。

11. 果菜類共通 オオタバコガ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では，露地栽培トマトで発生はやや少ない。(-)
- 2) フェロモントラップ調査では平年並である。(±)
- 3) 気象予報によれば気温は高く，降水量は少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を見たら防除指針を参照して薬剤を散布する。
- 2) 穴あき果や虫糞に注意し，見つけたら放置せず捕殺する。

12. 果菜類共通 チャノホコリダニ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生時期・量はやや少ない。(-)
 - 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は少ないと予想される。(+)
- 防除上考慮すべき事項
- 1) ナスやピーマンではへたや茎の褐変症状に注意し、発生を見たら発生初期に防除指針を参照して薬剤を散布する。

防除指針オンライン版で最新版を公開中です
(防除指針正誤表などの最新の情報をホームページ等でご確認下さい)

テレフォンサービス
0 4 2 (5 2 5) 8 4 0 7

インターネット上の防除所ホームページ
<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予報，発生状況，防除方法
などをお知らせしています。
最新の東京都病害虫防除指針もオンラインでご覧いただけます